

こころざし



発行・編集
深谷市教育委員会学校教育課
〒366-0823 埼玉県深谷市本住町17-3
TEL:048-572-9578 FAX:048-574-1744
E-mail gakko@city.fukaya.saitama.jp

ふるさとを愛し、夢をもち志高く生きる

～ふるさとにふれ、ふるさとを理解し、誇りに思う～

深谷市教育委員会
教育長 小柳 光春

少子・高齢化が予想以上の速さで進む一方で、今、地域コミュニティの弱体化が懸念されております。このような中で、学校は、地域社会活性化の鍵の一つを握っており、学校が、地域コミュニティの中核となること、いわば、教育が地域を動かすエンジンの役割を果たすことが求められております。改めて、地域の小・中学校には、地域の将来を担う人材として子供たちを育てるため、郷土の先人や歴史、文化等を教え、子供たちがふるさとにふれ、ふるさとを理解し、誇りに思う教育を推進することが必要と考えております。

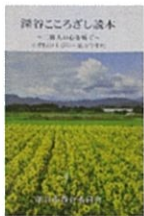
現在、深谷市では、市内全29の小・中学校をコミュニティ・スクールとして指定し、各学校に地域の方々からなる学校運営協議会を設け、地域ぐるみの教育に取り組んでおります。そこで、学校と地域の方々が心を合わせ、地域の先人である洪沢栄一翁、尾高惇忠、蕪塚直次郎の深谷の三偉人の生き方やその精神を学び、ふるさとを誇りに思う子供たちを育てるよう、新たに「深谷こころざし読本」を作成いたしました。この「深谷こころざし読本」を、道徳の時間や社会科など各教科等で活用しながら、子供たちに深谷の心を紡ぐ「ふるさと学習」を進めてまいります。



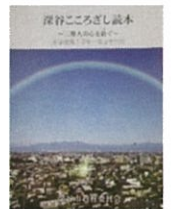
「～深谷の心を紡ぐ～ ふるさと学習」 — 深谷こころざし読本の活用例 —



ホフマン
輪窯



地域の将来を担う自覚を持った 子供たちを育成します。



身近な場所の資料が載っています。

備前堀と尾高惇忠

周水跡と田んぼ(深谷市江原地区)

(備前堀用水流域図)



ガイドマップも
載っています。

らんど
論議の里

挿絵もカラー
です。

※ 多くの深谷ゆかりの人物も掲載。

こんな学習を予定

モデル例 (6時間)
三偉人を知ろう (小学校4年生の例)

社会	洪沢栄一とレンガ工場	2時間
社会	深谷こころざし読本	1時間
社会	洪沢栄一記念館見学 (資料解説員の話聞く)	2時間
道徳	「煉瓦づくりへの思い」 まごころ先生の活用	1時間

教育の情報化に力を入れて取り組んでいます！

深谷市では、パソコンや液晶テレビモニターなどの機器を充実させ、加速する情報化社会を生き抜く子供たちの育成に、力を入れています。また、教員の事務処理を効率化し、子供と向き合う時間を確保するためにも、これらの機器を活用しています。



教室でもパソコンを使えるように



画面部分を外してタフ
レットとしても使用可

様々な場面で
PCを使って学習

コンピュータ室のパソコンを、タブレットとしても使えるハイブリッド型パソコンに、順次入替え、教室でもコンピュータを使って学習できるようにしています。

特別支援学級をパソコンで支援



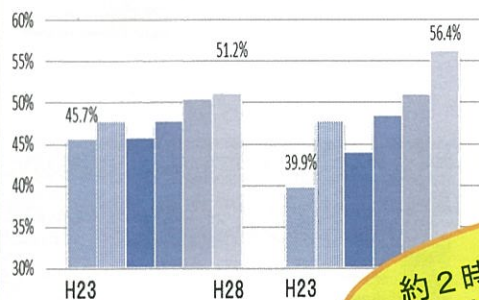
ふっちゃん子ども
福祉基金で購入！

90%以上の教員が
「効果あり」と回答

すべての特別支援学級にiPadを2台ずつ導入し、特別な教育的ニーズに応えられるようにしています。「聞こえとことばの教室」などでも有効に活用しています。

情報機器でわかりやすい授業を

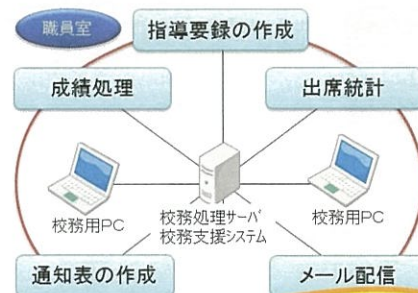
小・中学校におけるICTを活用した授業の割合
～平成23年度からの経年変化～



約2時間に1時間
ICTを使った授業

手元にあるノートや資料を映せる書画カメラと大型モニターを教室に設置。タブレットもすべての通常学級に導入して、子供たちが自分の考えを伝えるために活用しています。

教師が子供との時間を生み出す



PCの活用により
年間65.4時間創出

教員が子供と向き合う時間を確保するため、コンピュータを使って成績処理等を効率的に行えるようにしています。情報機器を活用し、授業準備の効率化も図っています。